

ブータン王国国王陛下による宮中晩餐会スピーチ

まず、天皇皇后両陛下に対する深い敬意をお伝え致します。

皇太子殿下、

皇族の皆様、

閣下、

皆様、

天皇皇后両陛下より、私と妻ジツェンにいただきましたご厚情と温かいおもてなしに、深く感謝申し上げます。大変光栄に存じます。若輩にもかかわらず、このように寛大なおもてなしをいただけるとすれば、それは日本に対して比類ない愛情と好意を抱くブータン国民を代表してお受けするからであると言わねばなりません。私は常々、日本国民とブータン国民は、何か言葉で説明できない、しかし非常に深淵なもの、日々のやりとりや両国の歴史さえをも超越した何かを共有していると信じてまいりました。ブータン国民が、一度も訪れたことが無くとも日本について深い愛着を持って話す様子から、私は常々これを感じてまいりました。そして、3月に日本に対する支援がほとぼるのように集まり、ブータンの至る所で人々が寺院や僧院を訪れ、地震と津波の被害に遭われた方々のために祈りを捧げるのを見た際にも、私はそれを感じました。

皇太子殿下、

日本国民とブータン国民は特別な絆を有しています。

それゆえ私は、敬意をもって、ブータン国民が日本と日本国民に対して抱く連帯と友好の精神に対する贈り物として、天皇皇后両陛下と日本国民の私に対するご厚情と寛大なおもてなしを頂戴いたします。

私の父から天皇皇后両陛下と皇族の方々への祈りと祝福の言葉をお伝えしたいと思います。また、この機会に、両国間の温かい友情を深めていくにあたり、天皇皇后両陛下及び皇太子殿下と私の父との間の個人的な絆が、とても重要な役割を果たしてきたことに感謝申し上げます。

もしゾンカ語で申し上げることをお許し頂けるならば(※この段落は国王陛下がゾンカ語および英語でご発言)、天皇皇后両陛下のご健康とご多幸、ご長命をお祈りいたします。そして、この日本という美しい国と日本国民の皆様が末永い平和と幸福に恵まれますよう祈念いたします。

私個人として、私どもの結婚後間もなく、天皇皇后両陛下のお招きにより訪日できましたことが特別な名誉及び幸福であると申し上げたいと思います。なぜならば、私と妻ジツェンは、これから人生を共に歩いていく過程で、そして私どもの祖国のために尽くしていく上で、天皇皇后両陛下から常に啓示とお導きをいただこうとするからです。

天皇皇后両陛下のご健康とご多幸、そして日本国民の平和、発展、繁栄をお祈りして、杯をあげたいと思います。

タシ・デレ！（乾杯！）